

社会科学習指導案

平成29年12月1日(金)

I 単元 市の様子の移り変わり

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性

市の様子の移り変わりについて問題を主体的に調査し、
解決しようとする態度、地域社会の一員としての自覚と愛情

①知識・技能

市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴って移り変わってきたことへの理解、聞き取り調査や地図資料で調べ、年表にまとめる技能

②思考力・判断力・表現力等

交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具の変化の傾向や、市の様子の変化と人々の生活の変化とを関連付けて考え、表現する力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

(4) 市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。

(3) 本単元の学習とその価値

本単元は、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具の時期による違いに着目し、前橋市の様子の移り変わりを聞き取りや地図によって調べ、市や人々の生活の様子の変化を考え、それらが時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解する学習である。その価値は以下のとおりである。

主に前橋市の地理的側面を学習してきた子どもたちが、本市の歴史的側面を追究することは、地域理解を一層深める上で重要である。そして、年配者への聞き取りや新旧地図の比較を通して、新たな調べ方の技能を習得し、社会的事象の変化を考えるという新たな思考の方法を身に付けることができる。また、両親や祖父母の幼少期の市や人々の生活の様子を取り上げ、それらが時間の経過に伴い、現在の姿へと移り変わってきたことを理解することは、初めて歴史的な視点から社会的事象を追究する子どもたちにとって、過去の人々の営みと自身とのつながりを実感するとともに、地域社会の一員としての自覚や、郷土に対する愛情を育む上で意義あるものとする。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、4年「県内の伝統や文化」で、以下の学習へと発展していく。

県内の文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組を見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、年表にまとめ、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、県内の文化財や年中行事には、地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展などの人々の様々な願いが込められていることを理解する学習。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、3年「前橋市調さたい」において、市の特色ある自然や交通の様子、土地利用の様子を観察及び地形図や土地利用図などの各種地図を用いて調べ、白地図にまとめ、市の場所による違いを考え、市の地理的環境を大まかに理解する学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

① 現在の市の地理的環境についての知識をもっている子どもたちが、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴って移り変わってきたことへの理解を深められるように、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具の各観点ごとに時期による違いを調べ、年表に整理する活動を「追究する」過程を通して設定する。

また、市の様子について自然や交通、土地利用の観点ごとに直接観察や地図を読み取って調べたり、分かったことを白地図にまとめたりすることができるようになってきている。このような子どもたちが市の様子の移り変わりについて聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして年表にまとめる技能を習得できるように、年配者に過去の市の様子やくらしの様子を聞き取る活動や、新旧の3つの時期の地形図を比較して調べる活動を設定する。また、年表にまとめる技能を習得できるように、市の主な出来事や観点ごとに市の変化の様子を記録できる年表シートを用意する。

② 調べた諸地域の特色ある地形や土地利用の様子、交通の様子を基に、市の場所による様子の違いを考え、表現することができるようになってきている。このような子どもたちが、交通や公共施設、土地利用や人口の時期による様子の違いについて調べたことを基に、市の様子の変化と人々の生活の変化とを関連付けて考え、表現できるようにする。そこで、短冊に視覚化した調べたことと、それらの因果関係について、人々の生活の変化の視点から話し合う活動を設定する。

③ 前橋市の地理的環境について疑問点や調べたいことをもち、問題を主体的に追究することができる。このような子どもたちが、市の様子の移り変わりについて、学習計画表に沿って問題を主体的に追究できるように、学習問題に対する観点ごとの予想や調べる方法、分かりそうなことをグループで話し合う活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

1 ねらい 3つの時期の土地利用図を比較して、土地利用が変化してきた様子を調べ、その理由を話し合うことを通して、時間の経過に伴う交通の整備や移動手段、産業の変化に伴って、市街地が拡大し、桑畑が農地や工場団地に移り変わっていったことを理解する。

2 準備 年表シート 60年・40年前・現在の市の土地利用図 短冊

3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は、60年前・40年前・現在の土地利用図で変化の様子を調べるのだったな。 ・きっと田畑が少なくなって家や店が多くなっていると思うよ。 <p>2 3つの時期の土地利用図を比較して、変化の様子を調べ、年表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家が多くなっているよ。60年前は家よりもずっと桑畑が多かったのだな。 ・40年前ごろから現在の工場団地の辺りに工場が建てられてきたのだね。 ・桑畑だったところに新しい家や田畑や工場が建てられてきているな。 ・どうして桑畑が減って、家や工場、田畑が広がったのかな。 <p>3 宅地の広がりや、桑畑が農地や工場団地に移り変わっていったことの理由について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きっと、道路や橋が整備されて、人々がたくさん車に乗るようになったからだよ。 ・そうすると、工場に仕事に行く人も車に乗って行くよね。トラックも同じかな。 ・カイコは育てなくなったから桑畑はなくなったのだよ。その分、工場に働きに行く人やキュウリづくり農家が増えたのかもね。 ・確かに、前の学習で勉強したキュウリづくり農家が多い富田町や河原浜町は、60年前はほとんど桑畑になっているね。 <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家が広がったり桑畑が田や畑、工業団地に変わったりしたのは、道路や橋が整備されて人々が車やトラックに乗るようになったり、カイコを育てなくなったりしたからだ。 ・時代ごとの土地利用図を比べて気付いたことを話し合っ、土地利用の変化やその理由を考えることができたのだね。 	<p>○「前橋市がどのようにうつりかわってきたのか、土地利用図をくらべて調べよう」という本時のめあてをつかめるように、学習計画表を提示し、学習問題について本時に追究する観点や調べる方法を問いかける。</p> <p>○土地利用の変化の様子を読み取ることができるように、家や店、田、畑、桑畑、工場、公共施設にそれぞれ配色した3つの時期の土地利用図をグループごとに用意するとともに、年表シートにそれぞれについてまとめる欄を設ける。</p> <p>○自信をもって年表に記述することができるように、机間指導の中で子どもたちの気付いた変化を取り上げて紹介したり、同じ地域の土地利用の変化を3つの時期を通して比較しているグループを賞賛したりする。</p> <p>○宅地の広がりや桑畑が農地や工場団地に移り変わっていったことの理由について、友達と多様な考えと理由を補完・修正できるように、グループで自由に意見交換をする時間を設定する。</p> <p>○土地利用の変化と人々の生活の変化とを関連付けて考えられるように、発表された考えを短冊に記し、黒板上に位置付け、線で結び付ける。</p> <div data-bbox="794 1368 1401 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p>土地利用が変化してきた様子について、交通の整備や移動手段、産業などの人々の生活の変化と関連付けて記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言②></p> </div> <p>○時間の経過に伴う交通の整備や移動手段、産業の変化に伴って、市街地が拡大し、桑畑が農地や工場団地に移り変わっていったことを理解できるように、話し合いの結論を板書にまとめる。</p> <p>○時期の異なる土地利用図を比較して調べる方法の成果を実感できるように、「どのように学んだか」の視点を提示し、本時の振り返りを記述するよう促す。</p>

指導と評価の計画（全12時間）

目標	前橋市の移り変わりについて、学習問題を意欲的に追究し、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具の時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり地図などの資料を活用したりして調べ、年表などにまとめ、市や人々の様子は時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解する。			
評価規準	<p>① 知識・技能) 駅や道路などの交通が整備されてきたこと、公共施設が建設されてきたこと、土地利用や人口、生活の道具が変化してきたことなどを基に、市や人々の生活の様子は時間の経過に伴って移り変わってきたことを理解している。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等) 市や人々の移り変わりについて聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして、年表にまとめている。</p> <p>③ 学びに向かう力・人間性等) 市や人々の生活の変化について関心を持ち、学習問題や予想、学習計画を考え、意欲的に追究しようとしている。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○昔の学校や60年前、40年前、現在の前橋駅前写真を基に違いを比べ、知っていることや疑問を話し合う。	○市の昔の様子について疑問点や調べたいことを考えられるように、60年前、40年前、現在の前橋駅前や附属小の写真を提示し、現在との違いを探る活動を設定する。	◇市の昔の様子について疑問点や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言③>
	1	○地域のお年寄りに話を聞いたり、60年前、40年前、現在の学校周辺の航空写真を見たり、して、市全体の移り変わりについて課題意識をもつ。 学習問題 わたしたちの市は、どのようにうつりかわってきたのだろう。	○地域のお年寄りへの聞き取り調査をすることができるように、市の昔の様子について疑問点や調べたいことを基にインタビューをする場を設定する。 ○市全体の移り変わりについて課題意識をもつことができるように、60年前、40年前、現在の学校周辺の航空写真を提示し、気付いたことや疑問、調べたいことを話し合う活動を設定する。	◇地域のお年寄りへに自分の疑問を質問したり、聞き取ったことを適切にメモしたりしている。 <学習プリント・発言①> ◇駅前以外の昔の市の様子や市全体の移り変わりについて疑問や調べたいことを基に課題意識をもっている。 <学習プリント・発言③>
	1	○学習問題について予想や調べる方法を考え、学習計画を立てる。 <調べる観点> ・交通 ・土地利用 ・公共施設 ・人口 ・生活の道具	○学習問題について追究する見通しをもてるように、現在の前橋市の地図を基に60年前、40年前の様子を予想し、グループの学習計画表を作成する活動を設定する。	◇観点ごとに予想や調べる方法を考え、それらの資料から分かることを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言③>
追究する	1	○3つの時期の道路地図や通りの写真を見比べて、道路や橋が整備されてきた様子を調べ、年表にまとめる。	○交通が整備されてきた様子について地図を用いて調べ、年表にまとめることができるように、3つの時期の地形図や写真を提示し、3つの時期ごとに整理する枠を示した年表を用意する。	◇交通が整備されてきた様子について、地図を用いて調べ、年表に記述している。 <年表①>
	1	○3つの時期の土地利用図を見比べて、土地利用が変化してきた様子を調べ、その理由を話し合う。(本時)	○時間の経過に伴い、土地利用が変化してきた理由について、交通の整備や移動手段や産業などの人々の生活の様子と関連付けて考えることができるように、調べた土地利用の変化を短冊で視覚化して提示し、因果関係を話し合う活動を設定する。	◇土地利用が変化してきた様子について、交通の整備や移動手段、産業などの人々の生活の変化と関連付けて記述したり、発言したりしている。 <ノート、発言②>
	1	○3つの時期ごとに色分けした小学校の分布図を作成し、それぞれの時期ごとに建設されたを年表にまとめる。	○時間の経過に伴い、都市化した地域ごとに小学校の数が増えたことを理解できるように、3つの時期ごとに色分けした小学校の分布図と3つの時期の土地利用図を関連付けて、分布の特徴を話し合う活動を設定する。	◇時間の経過に伴い、都市化した地域ごとに小学校の数が増えたことを記述したり、発言したりしている。 <年表・発言①>
	1	○市の人口の増え方を読み取り、人口が増えたきっかけを話し合う。	○市の人口が増えたきっかけをこれまで調べてきたことや市内の主な出来事と関連付けて考えることができるように、市の人口推移グラフと3つの時期を中心とした市のできごとを年表で提示する。	◇市の人口が増えたきっかけについて、合併による市域の広がりや交通の整備や土地利用の変化と関連付けて記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言②>
	3	○生活の道具の変化を具体物や聞き取り調査で調べ、家庭のくらしの変化を年表にまとめる。	○時間の経過に伴い、家庭のくらしが機械化・現代化したことに気付けるように、調べた3つの時期の生活の道具の様子を全体で板書に整理して変化の傾向を話し合う活動を設定する。	◇生活の道具の変化とともに家庭のくらしの様子が変化したことについて記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言②>
・まとめ	1	○これまでの学習を振り返って学習問題の答えをまとめ、市や人々の生活の様子の移り変わりを話し合う。	○前橋市が住宅地や工業団地の開発をきっかけに道路や公共施設を整備され、都市化が進み、人口が増え、人々の生活も大きく変化したことを理解できるように、3つの時期の地図やまとめた年表を概観して分かったことをまとめる時間を十分に確保する。	◇前橋市が住宅地や工業団地の開発をきっかけに道路や公共施設を整備され、都市化が進み、人口が増え、人々の生活も大きく変化したことを記述したり、発言したりしている。 <ノート・発言①>